

# 台風や大雨が来たら

## その 気象情報に注意

災害時にもっとも必要となるものは、「情報」です。台風や大雨の情報は、比較的早めに伝えられますが、局地的な大雨が降る場合もあり得ますので、できるだけ最新の情報を手に入れるようにしましょう。

## その こんな情報に注意

テレビやラジオの台風情報で、「大型で非常に強い台風号は…」という言葉を目にします。「大型で」というのは風の大きさを表し、「非常に強い」というのは風の強さを表しています。

台風が接近しているときには発生した台風の規模と進路に関する情報に耳を傾けるとともに、風が強い「なぜ台風」なのか、雨が強い「あめ台風」なのにも注意して備えておきましょう。

### 風の大きさによる階級分け

階級	風速15 <small>ノット</small> 以上の範囲
大型 (並みの大きさ)	中心からの半径500km以上800km未満
超大型 (非常に大きい)	中心からの半径800km未満

### 風の強さによる階級分け

階級	最大風速 (ノット)
強い	33以上 ~ 44未満
非常に強い	44以上 ~ 54未満
猛烈な	54以上

(ノット = m/s)

## その 早めの避難を

浸水やがけ崩れの恐れがある場合には、早めに避難することが何よりも大切です。災害の状況を軽くみないで、消防や警察、市などの広報に注意し、避難の勧告や指示が出された場合には、その指示に従いましょう。周囲の状況からみて危険と判断した場合には、自主的に避難をして災害から身を守りましょう。

## 市の風水害対策

台風などの被害で大きなものと言え、河川のはんらんなどによる洪水と土砂崩れなどの土砂災害です。大規模災害が発生する恐れ



災害が予測されると災害対策本部が設置されます

がある場合などには、「南丹市災害対策本部」を設置し、災害の未然防止、被害の拡大防止や災害復旧に努めます。南丹市は大堰川、由良川の上流域にあたるため、水源地での大雨により、短時間で河川が増水するので特に警戒が必要で、災害時の避難場所は、小・中学校、公民館、その他の市立施設を指定しています。お近くの避難場所が分からないときは、総務財政課 〇七七一六八 〇〇〇一または各支所地域総務課 園部 六八〇〇一〇・八木 六八〇〇二〇・日吉 六八〇〇三〇・美山 六八〇〇四〇(まで)お問い合わせください。

## 家の周りの備え

## その他注意すること

大雨が予想されるときは、貴重品や浸水に弱い家電や家具の移動をしましょう。外出からは早く帰宅し、家族全員と連絡をとりましょう。がけ、傾斜地、造成地などでは、外の気配に注意し、いつでも避難できる準備をしましょう。

